



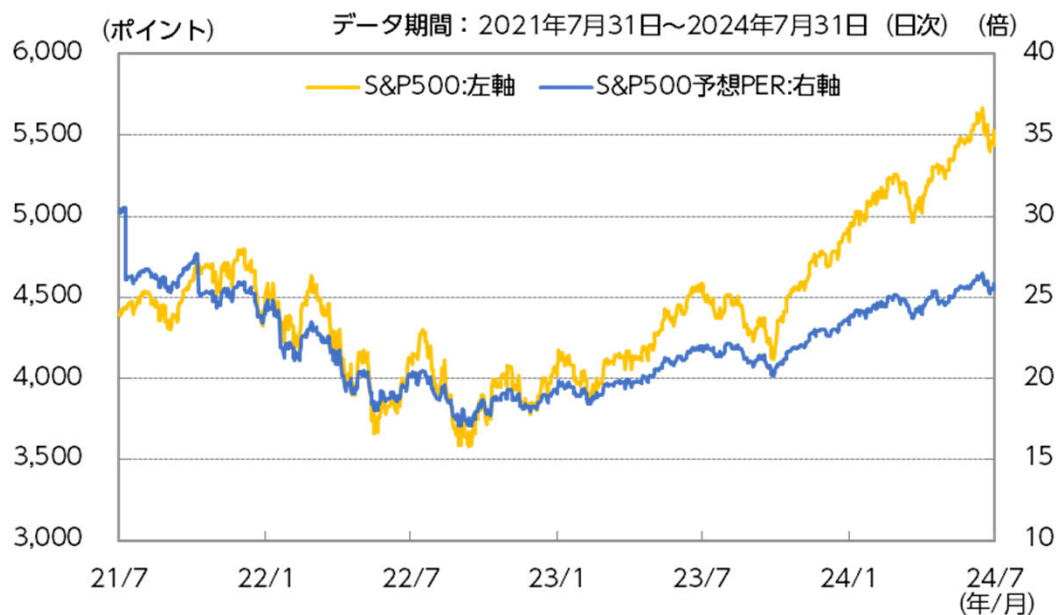
## 【米国株式】

- 11月の米大統領選を控えるなか急速な上昇相場の反動などにより、目先は軟調に推移する可能性も考えられます。
- 中期的には企業の積極的な設備投資や米景気の底堅さ、長期金利の変動が落ち着くことなどを受け、上昇基調になることが予想されます。

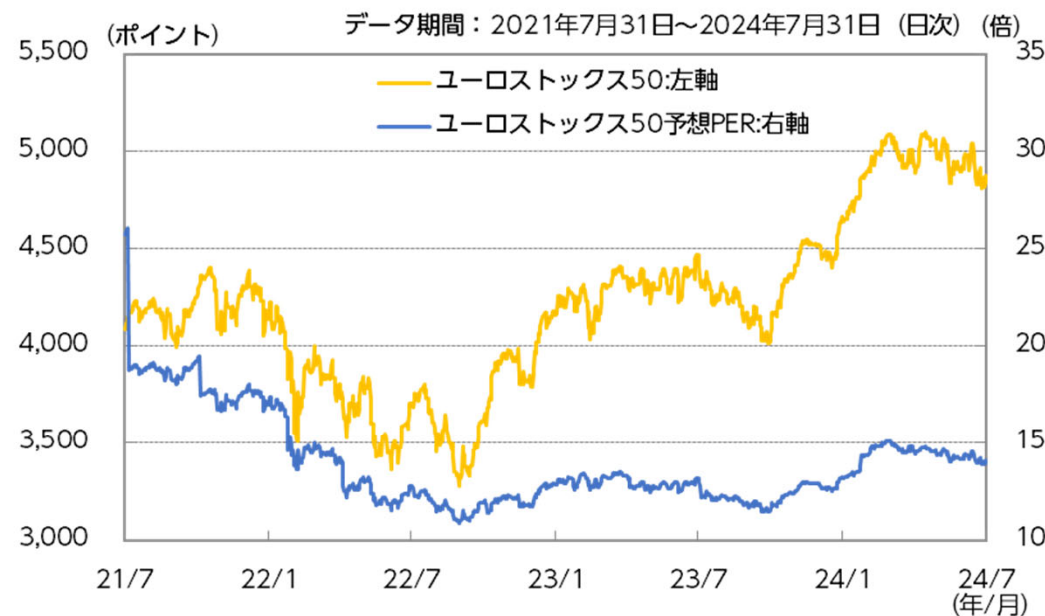
## 【欧州株式】

- 目先は政治イベントへの不透明感や残存する地政学リスク等、急速な上昇相場の反動から軟調な展開が予想されます。
- 中長期的には上昇傾向を見込むものの、欧州景気が軟調なことや人件費が企業収益を圧迫する可能性があることなどから、欧州株式は米国株式に比べて軟調な推移が予想されます。

【 S & P 500種指数と株価収益率の推移 】



【 ユーロ・ストックス50指数と株価収益率の推移 】



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

**ご留意いただきたい事項** ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。